



## 行政無線情報は電話でも

防災行政無線が聞き取りにくい場合は  
☎(48)7030で確認してください。最新の  
メッセージを聞くことができます。

「第三十四回阿久比町消防団消防操法大会」(小型ポンプ操法)が六月二十六日、阿久比スポーツ村第二駐車場で開催されました。  
小型ポンプ操法は、指揮者一人と操作員三人、吸管補助員一人の計五人で行います。指揮者の「操作始め」の号令で、指揮者と一番員が二重巻きホース三本を火点前まで延長

## 第34回町消防操法大会 ～練習で磨いた 操法技術を競う～

### 優勝は第3分団2号車



します。二番員、三番員はポンプ後方に吸管を取り付け、布水槽に吸管を投入し、水を給水後、一番員の「放水始め」の伝達により送水し、指揮者が標的を落下させます。標的落下までの基準タイムは四十五秒です。  
審査は、各団員が待機線に整列したところから、解散までの土気、規律、迅速な行動、チームワーク、器

# 防災への意識改革

162

安全  
まちづくり  
で  
住み  
よい  
い  
ニュース

防災交通課  
☎(48)1111  
(内208)

## 安全で住みよい まちづくりを推進

阿久比町安全安心町民大会を七月四日、中央公民館本館で開催しました。町交通安全推進協議会と安全で住みよいまちづくり推進協議会の総会を行い、昨年度の活動報告や今年度の活動計画を決めました。

また、半田警察署員による交通安全に関する講話や、町内で起きた犯罪の傾向と対策について説明がありました。

最後に、竹内卓美消防団長が「進んで交通安全、地域安全活動に参加し、力を合わせて安全で住みよいまちづくりを推進します」などを盛り込んだ大会宣言文を読み上げ、参加員愛護などが審査されます。

大会では、標的落下までの所要時間と、火点方向にホースが真っすぐ伸びたかが重要視されます。

選手に選ばれた団員は、この大会のために約二カ月間、連日の夜間練習を重ねてきました。大会当日、多くの来賓が注目する中で選手は、会場に駆け付けた家族や消防団OBの声援を受けながら、真剣に競技に取り組んでいました。

### 【大会の結果】 (敬称略)

優勝 第三分団二号車

竹内登、竹内辰徳、竹内佑弥、原貴志、西村裕也(以上草木)

者全員で「安全で安心して暮らせるまちづくり」を目指すことを確認しました。



### 準優勝 第一分団二号車

下村太一、鈴木貴洋、田中勇(以上宮津団地)、新美優介(宮津)、境田光一朗(宮津団地)

### 第三位 第一分団一号車

水野慎一(横松)、種田裕介(宮津)、松田和樹(宮津団地)、榎原光也(宮津)、松浦健悟(宮津団地) 敢闘賞

新海正智(草木)、田中恒輝(椋岡)、石川義高(坂部)、千葉智仁(植)

優勝した第三分団は、平成十七年の第二十八回大会から七連覇です。